



平成 30 年 9 月～平成 31 年 1 月

# 市政「未来ポスト」～皆さんの声～

市政「未来ポスト」にお寄せいただいたご意見を紹介します。(一部抜粋)



## 熊野古道方面行のバス停の並び表示について

私は毎月一度は田辺駅のバス停を利用しますが、その都度大勢の外国人の方がバスを待っています。後から来た私たちも、何処に並んでいいのかわからなくなり同じように迷います。点字ブロックで乗車方向の表示がありますが、これだけではほとんど効果はありません。並び順序を分かりやすくする導線等の工夫をお願いします。

また、これはバス会社の問題だと思のですが、大きな外国人の体格はバスの座席にあまりにも窮屈で気の毒です。何とか座席の間隔を大きくできませんか？ 私たちでもそう思うのですから！ 海外に熊野古道をアピールするのであれば、いい思い出をもって帰っていただきたいと願います。

紀伊田辺駅の各方面へのバス停の表示については、バス事業者等と連携して外国人観

## 国産割り箸について

小学校 4 年生の社会科で「ごみ」問題を学習しています。ごみを減らすこと、リサイクルの大切さなどを児童と学びました。その中で「割り箸を使わず、マイ箸を使った方が良い」という意見が子供たちからでました。一方で、「間伐材を使っているから協力して割り箸を使った方が良い」という意見があることも紹介しました。

やはり、間伐材を用いた国産割り箸等を用いた方が、環境や地域のためになるのでしょうか？

日本は、木の文化を、そして、江戸時代に割り箸を生み出した割り箸の文化を持つ国です。割り箸は、江戸時代の吉野(奈良県下市町)において、樽材として使っていた杉の端材(※樽の製造過程で、原木から必要な部分を切り取った際にできる余った木片等)を有効利用することから生まれ

光客に分かりやすい表示に変更しているところですが、

また、バスの運行待ちが混雑しないような工夫も必要であると考えますが、今後の状況等も確認しながら、その手法についても関係者も含め研究してまいります。

一方、運行車両の大きさや運用については、民間の路線バス事業者が、利用者の状況等を見ながら、経営面も含めて判断するべきものと考えています。なお、ご提案いただきました内容につきまして、各路線バス事業者にお伝えいたしますので、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 【観光振興課 観光振興係】 【企画広報課 企画調整係】



たものと言われています。

国内消費量は平成 24 年度に 190 億膳ですが、この内、価格の安い輸入材が 98% (186 億膳) を占めており、国産は 2% (4 億膳) です。【林野庁ホームページの平成 25 年度森林・林業白書】

この価格の安い輸入割り箸の影響もあり、国産の割り箸工場は減少の一途を辿り、現在、和歌山県内で割り箸(端材・間伐材を活用)を製造している工場はありません。

海外では、日本と比べて原木(木材)の価格が安いいため、原木全てを割り箸に加工します。一方、日本では、原木を建築用材等の製品として利用した後の端材や間伐材から作られており、割り箸を作る目的だけで木を伐採することはありません。

このように、端材や間伐材から製造することで、廃棄されるはずの資源を有効利用し、原木 1 本当たりの価値を上げることで、山全体の価値を高めます。また、山の価値を高めるこ

## 味光路の再開発について

味光路の再開発については以前にも提案させていただいたのですが、市に宿泊してもらうには魅力が必要だと思います。是非、お考えください。

現在、市では、全国 10 か所のモデル地区の一つとして国

からの指定を受け、平成 29 年度から平成 31 年度にかけて、JR 紀伊田辺駅から闘雞神社において、世界遺産にふさわしい外観整備と駅前空間を刷新する事業を実施しています。具体的には、「田辺市景観まちづくり刷新協議会」を設立し、来訪者の休憩所となるポケットパークの整備、宮路通りから南方熊楠顕彰館を結ぶ市道の美装化、闘雞神社と深い関わりを持つ大福院の保存・修復、田辺駅前商店街の修景整備、多くの方々が集まる市街地活性化施設の整備、JR 紀伊田辺駅舎の建て替えに合わせた外観修景整備等の事業を進め、魅力ある街づくりに取り組んでいるところ

とで、森林所有者の「森林整備」や「森林経営」の意欲が向上し、さらに、「森林管理」の担い手確保にまでつながるものと期待をしています。

いずれにしても、日本の割り箸の製造は、本来捨てられるはずだった資源の有効活用に加え、山の価値を上げることで山村地域の活性化にも寄与するものです。

しかしながら、赤道直下等の地域では、開発による森林伐採が深刻化しており、さらに、この地域で生産された建築資材等の木製品が、日本国内で消費される等の問題も議論されています。

これら原木(木材)の利用には、国内外での様々な問題が重なり非常に難しい課題となっておりますので、小学校 4 年生の皆さんが「割り箸」を使うときには、いろいろな背景について思い浮かべていただけたらと思います。

です。こうしたハード整備を進める一方で、民間の方々による事業が活発に展開されるよう、ソフト面での支援事業を進めるなど、関係団体と連携を図りながら、来訪者の方々に楽しんでいただけるように取り組んでいます。

以前にもご指摘いただきましたとおり、味光路は田辺の美味しいものが揃っており、観光スポットとして来訪者の方々にとって非常に魅力的な場所であることは間違いありません。今後、関係団体と連携を図りながら協力し、より良い手法を模索しながら、味光路の魅力発信できるように努めていきます。

引き続き、観光客の方々に田辺に来ていただくため更なる魅力ある街づくりを進めていきますので、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 【商工振興課 商工労政係】

## お願いとお断り

■問合せ等をさせていただくこともありますので、必ず氏名・住所・電話番号・メールアドレス(ある場合)を明記してください。(氏名等が無い場合は回答いたしかねます。)

■原則、回答を希望するものについては、おおむね 2 週間以内にお返します。なお、内容や状況により日数の掛かる場合がありますのでご了承ください。

■お寄せいただいたご意見等は、その内容・要旨を広報紙やホームページ等に掲載させていただきます。あらかじめご了承ください。掲載に当たっては、個人情報等の取扱いには十分注意し、個人が特定されることのないようにします。

■市政「未来ポスト」は、市政に対するご意見をいただく目的で設置させていただいています。個人・団体への誹謗中傷や営利目的の書き込み等は、遠慮ください。

企画広報課 広聴広報係  
☎0739(26)9963